

2023年度特別セミナー（5月より開始）

香川学習センター客員教員による学内学習会です。放送大学学生を対象に、月1回実施しています。
8月は全セミナー休講となります。（※申込・詳細については事務室窓口までお願いします。）

セミナー名 講 師	概 要	日 時
人の不可解な心理や行動を 考える 有馬 道久	パーティのざわざわした中でも自分の名前や関心のある会話はなぜか聞き取れます。SNS やインターネットでは批判的なコメントや誹謗中傷が増えます。医師に診てもらい、「悪いところはありませんよ」と言われると、急に具合が良くなったように感じます。本セミナーでは、こうした人の不可解な心理や行動について考えます。	原則第2水曜 13:00-14:30
 遺伝子の不思議を理解する 麻田 恭彦	近年の生命科学は単なる学問領域にとどまらず、遺伝子組換え作物・ゲノム編集・再生医療、そしてコロナ禍以降よく見聞きするPCR や mRNA ワクチン等々、我々の日常生活にも直接的に関わる存在となってきています。昨年度に引き続き、本セミナーでは、生命科学を理解する方策の一つとして、生命の根幹ともいえる遺伝子について、基礎事項も含めて、その不思議と面白さを学習したいと思います。 テキスト：「遺伝子の不思議としくみ入門」、島田祥輔 著、朝日新聞出版、1300 円（税別）	原則第1金曜 10:30-12:00 ※5 月度は 5/12(金) 13:30-15:00 開講
共生社会と特別支援教育 小方 朋子	共生社会を実現するために、教育の世界ではインクルーシブ教育（障害のあるなしに関わらず、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、その教育的ニーズに最も確に應える指導を提供できる仕組み）を目指しています。共生社会やインクルーシブ教育、そして特別支援教育についてこれまでとこれからを考えていきたいと思います。	原則第3木曜 13:00-14:30 ※7 月は 7/27(木) 開講
「思いやり」を考える 金網 知征	人間には他者を思いやり、時に赤の他人のために自らを犠牲にしてまで何かをしようとする傾向があります。またそうした行いを善い行いだとする価値観を共有しています。人はなぜ「思いやり」を大事にするのでしょうか。互いに思いやり助け合うことの社会的適応における機能と役割について発達社会心理学の観点から、身近な実例を交えて考えていきたいと思います。	原則第4水曜 10:00-11:30
はじめての臨床心理学： 現場編 橋本 忠行	こころの理解と支援について、心理検査からカウンセリングまで幅広いトピックを取り上げます。今年度は現場編として、医療・教育・司法などさまざまな分野での具体的な実践に焦点を当てます。これから臨床心理学を学びたい、メンタルヘルスに関心がある、心理学を自分のキャリアに活かしたい…そんな「はじめて」を応援します。	原則第2金曜 10:30-12:00
香川の「とち知り」 長谷川 修一	NHK 高松放送局ゆう6かがわの「とち知り」は、身近な場所の歴史をひもとく、災害などのリスクに備えるコーナーです。このコーナーで紹介された名所などを題材に、災害と名所や名産との関りを探ります。自分の住む土地の成り立ちを深く知り、災害の跡地を恵み豊かな土地に変えた先人の努力に思いをはせませんか。	原則第3木曜 10:30-12:00 ※7 月は 7/6(木) 開講
高齢者の事件から 現代社会の課題を考える 平野 美紀	わが国は世界有数の高齢社会となり、元気な高齢者が増える一方で、交通事故や高齢者虐待、老々介護、振り込め詐欺など、高齢者が加害者や被害者になる事件が後を絶ちません。高齢者をめぐる事件を通して、背景にある家族像の変化や現代の日本社会の課題を考えていきます。	原則第2木曜 10:30-12:00 ※6 月休講
家族を考える 松本 啓子	多様な側面から家族について考えたいと思います。具体的にはそれぞれが家族、在宅での暮らしの視点を取り入れた図書や映画、文献などの紹介を行い、課題や問題提起に繋げる。そこからディスカッション等を取り入れながら、家族を捉えることで、自分の家族やこれからの暮らしについて考える機会にしたいと思います。	原則第3金曜 13:00-14:30 ※7 月は 7/14(金) 開講

※日程を変更することがあります。変更があった場合はHPに掲載または教務掲示板にてお知らせします。

テキスト



←このマークがあるセミナーでは、テキストを使用するので各自で事前に用意してください。